

# 大阪府市場だより

第264号

(平成26年2月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会

茨木市宮島1-1-1

TEL (072) 636-3698

FAX (072) 636-3699

暦絵歳時記

イワシ

昔から「イワシ百匹、頭の葉」といわれるように、イワシは栄養価が高い健康食材です。豊富なDHA、EPAがコレステロール値を下げ、血液をさらさらにする働きがあります。そして、近年、DHAやEPAには発ガン率を低くするだけでなく、がん細胞の転移を抑制し、抗がん剤の副作用を軽くする作用があることもわかってきました。その他、ビタミンB2も豊富で、細胞の再生やエネルギーの代謝を促します。旬のイワシを、刺身やたたき、酢の物、生姜・梅干と一緒に煮るなど、多彩な料理で大いに食べて、健康づくりに役立てましょう。



絵：「イワシ&amp;節分」 山口 瞳（大庄水産）

## 府市場予算(案)などを報告・協議

定例常駐代表者会議

府市場の定例常駐代表者会議が2月20日午前10時から管理棟会議室で開催された。山口秀雄議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、大阪府中央卸売市場の平成26年度予算(案)について、木場次長から説明があった。

①計画修繕費として1億2800万円。内訳として、トイレ改修390万円、立駐塗膜防水改修（水産Aブロック）450万円、アスベスト対策工事180万円、その他青果・水産のニーズに即した修繕（せり場舗装・大通り舗装等）など。議長から、場内事業者と事前の協議を十分行っていたと、民間にできることは民間に任せて、有効に予算を使ってもらいたいとのコメントがあった。②主な施設整備の予算案として、非常用自家発電機設備改修工事2億3400万円、高圧受変電設備改修工事1億4600万円など計4億1000万円について場内関係者と協議しながら進めたいと説明。③大阪府中央卸売市場業務規程が消費税の改正により、4月1日付けで改正予定であること、他の予算案は府のHPをごらんいただきたいと説明があった。

議題2、管理センターからの報告が宮前統括から説明があった。（3頁参照）

前田・大果大阪青果(株)北部支社長から、今年1月に事務所の3、4か所が雨漏りしていることや、トラックの行き来でゆれがあるなどの指摘があった。議長から、実態の把握をするよう指示があった。

議題3、府市場協会の平成26

年度事務局体制及び運営案について事務局から説明があり、①事務局は引き続き2人体制とすること、②市場だよりのカラー化などの改善について、関係者の意見反映に努めること、③負担金は24年度理事会での審議とあり、協会事業の見直しを踏まえて削減することの案が示され、了承された。

議題4、各部会活動の報告があった。①東野・安全部会長（府青果卸売協同組合理事長）から、1月24日の安全運転講習会の開催結果が報告され、このような機会に今後ともできるだけ多くの参加をしようという要請があった。また、第4回一斉大掃除を3月14日（金）に開催する旨報告された。②濱崎・計量部会長（大北水部支社長）から、2月の計量器検査結果と3月の計画について報告があった。③事務局から、ボウリング大会実行委員会が開催され、第29回ボウリング大会を、3月7日（金）に開催することに決定し、現在参加者を募集している中で、配慮方の依頼があった。議題5、その他として木場次長から、府査察担当者による喫煙者への声掛け実績の推移が示され、地道な努力により減少傾向にあることが報告された。前川市場長から、茨木保健所による禁煙研修会の開催について、各社・団体の代表者等には5月21日（水）、従業員の方等には7月2日（水）に研修会を開催する予定であること、また研修会に向けてアンケート調査等を検討していることが説明され、了承された。

全項目で優良・良好

府市場指定管理者を評価

大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会（委員長・津田盛之、未来産業経済研究所代表の他、奥谷尚吾公認会計士、田上智子弁護士、富阪一之大商流通・サードビス産業部長の4人で構成）は、1月27日に大阪市内のホテルで、25年度委員会を開催した。同委員会は25年度に指定管理者が実施してきた業務について、指定管理者の自己評価と施設所管課である府市場の評価に対し、調査・審議するもの。先ず、前川佳之府市場長が挨拶し、「24年度の評価委員会の結果を25年度の事業計画に反映させるとともに、指

のうち、優良項目として2項目が挙げられ、「安定的な運営が可能となる財政的基盤項目」で、「財



務基盤は安定し適正である」とさ  
れたほか、「サービスの向上を図るための具体的な手法・効果項目」で、「ゆるキャラによる府民へのPR効果の高さや産地との事業連携を積極的に行ったこと」などが高く評価された。残りの9項目すべてについて、良好と評価されている。委員からは、事業が順調に実施されていることを実感したとのコメントとともに、指摘・提言が行われ、「質を落とさず経費の削減が可能か」の意見に対しては、前川市場長から業務委託の仕様書を見直すことにより質を落とさず経費を削減している現状の説明があった。また、「指定管理者が場内事

業者で構成されている性格から、施設の使用許可が公平公正に行われているか」の質問に対しては、「新しい審査基準を設定し、実施しているのが公平公正性を欠くことはない」との説明が行われた。その他、ゆるキャラを活用したDVD作成によりPRを強化することや市場を通じることによる安全安心であることのPRを強化していくことなどについて指摘があった。今後、委員会では対応方針策定のための作業を進め、3月中旬に対応方針等を公表、これを受けて指定管理者が26年度事業計画書を作成し、府に提出することになる。

流通状況調査結果を発表 府市場

府中央卸売市場では、昨年10月5日を調査対象日とした市場取扱品流通状況調査結果を発表した。

この調査は、同市場を経由して供給される生鮮食料品等の流通の実態を地域別、業態別に把握するもの。

◆数量ベースの地域別搬出状況  
…供給圏（三島・豊能・北河内・大阪市の一部・東大阪市）27・3%（前年比▲18・4%）、供給圏以外の大府16・0%（同▲0・1%）、他府県56・7%（同+18・5%）。他府県は、兵庫18・7%、京都府8・8%、

奈良県2・7%、滋賀県18・7%で京都府のみ減少した。

◆数量ベースの業態別搬出状況  
…スーパー66・5%（同+8・1%）で一番多く、次いで一般小売業者13・3%（同▲6・0%）、その他（地方卸売市場等）8・8%（同▲3・6%）、飲食業者7・4%（同+4・3%）であった。

◆配達状況（種類別）…「買出人の自動車まで」が65・6%と最も多く、次いで「買出人の店舗まで」20・2%、「買出人の配送センターまで」8・9%、「持帰り」4・2%となっている。

◆加工状況…件数から見ると、「加工あり」14・0%、「加工なし」86・0%であった。「加工あり」の割合を種類別に見ると、野菜22・9%、果実16・9%、加工水産物10・5%、生鮮水産物7・3%で、野菜が高かった。

業態別搬出先割合

(単位：%、ポイント)

割合	種類	野菜	果実	生鮮水産物	加工水産物	総計	前年比増減
一般小売業者		14.9	6.8	15.1	20.4	13.3	▲6.0
スーパー		62.4	86.0	57.7	63.3	66.5	8.1
給食業者		7.0	0.4	0.1	2.5	2.3	0.0
加工業者		3.9	1.0	1.0	0.6	1.8	▲2.7
飲食業者		1.4	0.4	16.1	5.9	7.4	4.3
その他		10.4	5.4	10.0	7.3	8.8	▲3.6
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	---

地域別搬出先割合

(単位：%、ポイント)

地域		種類	野菜	果実	生鮮水産物	加工水産物	総計	前年比増減
供給圏	三島地区		28.4	6.0	4.7	9.3	12.1	▲9.9
	豊能地区		6.7	1.6	0.8	2.9	2.8	▲2.4
	北河内地区		14.5	4.3	4.3	5.7	7.3	▲5.1
	その他供給圏		5.1	1.9	7.5	3.3	5.1	▲1.0
供給圏計			54.6	13.8	17.3	21.2	27.3	▲18.4
供給圏以外の大府			13.3	3.3	26.3	12.5	16.0	▲0.1
大阪府計			68.0	17.1	43.6	33.7	43.3	▲18.5
他府県	兵庫県		14.4	4.4	30.2	21.5	18.7	0.7
	京都府		6.5	2.6	12.4	21.9	8.8	▲1.4
	奈良県		0.5	0.3	4.5	11.7	2.7	0.9
	滋賀県		1.2	71.2	0.9	1.4	18.7	16.0
	その他の県		9.5	4.4	8.3	9.8	7.8	2.3
	他府県計		32.0	82.9	56.4	66.3	56.7	18.5
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	---



市場活性化事業

府市場では、市場活性化事業の一環として、場内の卸会社、仲卸会社とともに、産地や小売店・量販店及び事業連携している大学の協力のもと、生鮮食料品の消費拡大キャンペーンや各種の食育事業を展開している。

◇グランフロント大阪で

大阪産を展示・販売

昨年12月から、グランフロント大阪のパナソニックセンター大阪が開催する「土曜市」に府市場から参加しているが、2月15日には府市場で扱う大阪産(もん)ⅡJ A 中河内の「若ゴボウ」、J A いずみの「しゅんぎく」「みずな」Ⅱの



この商談会は、生鮮食料品を加工販売されている業者の皆様を対象にしたもので、佐賀県、大分県フェ

◇日本アクセスとの連携による府市場まつり

府市場では、(株)日本アクセス近畿支社が行う「2014年春季展示商談会」において、佐賀県農協、全農大分県及び事業提携している大阪成蹊大学のご協力のもと、平成26年1月16、17日(木、金)にインテックス大阪6号館A・Bゾ

ア(J A 佐賀県農協、J A 全農おいた)の開催や、府と事業連携している大阪成蹊大学によって佐賀県、大分県の特産品を使った「野菜・果物の宝石箱」をテーマにした小売店の売場展示が提案された。参加された事業者の方は、大学とのコラボによる工夫された展示に非常に関心を持たれていた。



衛 検  
だより

食品営業許可について

食品衛生検査所

食品の製造、加工、調理、販売などの営業を始めるには、一部を除き、食品衛生法に基づく営業の許可が必要です。

大阪府では、飲食店営業、魚介類販売業、乳類販売業、食肉販売業、そうざい製造業などの34業種の営業は、施設ごとに保健所長の許可を受けなければなりません。

これらの営業許可を申請するためには、湯沸器、シンク、手洗いなど基準に合致した施設設備と、食品衛生について一定の知識を有する専任の食品衛生責任者が必要となります。

調理師などであればなることができますが、これらの資格がない場合には、資格取得のために食品衛生協会が行う養成講習会を受講しなければなりません。業種によって施設の基準は、異なりますので、わからないことがあれば、その施設を管轄する保健所に事前に相談してください。

営業許可を申請すると、提出図面通りに設置されているかどうか、食品衛生監視員が施設に行き、現場確認を行います。基準どおりの設備が整っていれば、許可証が後日発行されます。許可の有効期間中にも、申請

内容に変更があれば、手続きが必要です。保健所に届け出が必要事項は、屋号の変更、施設設備の変更、廃業、許可証の破損紛失、食品衛生責任者の変更などが該当します。

また、営業者の変更や施設を移転した場合は新規申請となります。

また、営業許可には、有効期間があるため、満了するときには許可更新の申請が必要です。更新の手続きをせずに営業を続けた場合、無許可営業となりますので、ご注意ください。

食品衛生について、よくわからないことや、疑問に感じることなど、食品衛生検査所もしくは茨木保健所まで、お気軽にご相談ください。

管理センターからの報告(要旨)

- ① 年度末までに執行予定の主な活性化事業・修繕工事
- ◇活性化事業 ○北門サイン塔設置 ○水産大通り・青果軒下通リ側溝受枠・グレーチング改修 ○場内車両誘導標示板改修 ○場内高さ制限表示板(3・9m)改修 ○正門横業者一覧
- ・掲示板改修 ○青果大通り照明器具増設(LED) 2列にLED 1列を増設 ○水産仲卸棟有圧換気扇増設 ○市場DVD、ノベルティ製作 ○出入り口ゲートサイン修繕工事(4か所)
- ◇修繕工事 ○青果棟・水産棟3階渡り廊下改修 ○青果・水産卸棟3階廊下側壁修繕 ○水産卸棟4階廊下修繕 ○水産小通り照明器具取替え1灯を2灯に(LED) ○発泡スチロール減容機修繕 ○小便器自動洗浄器具設置(2階トイレを除く) ○管理棟連絡通路塗装替え・修繕 ○管理棟周辺植栽修繕 ○外周フェンス修繕 ○青果仲卸棟2階Cブロックトイレ汚水配管水漏れ修繕
- ② 消防訓練…3月28日10時から11時。管理棟脱出袋2台更新

卸売業者取扱高(平成26年1月) 大阪府中央卸売市場

卸売業者名	種類	数量(kg)	前年比%	金額(円)	前年比%
青果計	野菜	11,126,570	110.4	2,337,912,050	106.2
	果実	4,471,774	103.9	1,369,013,946	101.6
	小計	15,598,344	108.5	3,706,925,996	104.4
水産物計	生鮮水産物	1,909,519	100.3	1,610,769,546	103.9
	冷凍水産物	398,805	88.4	347,649,086	96.1
	加工水産物	1,045,822	97.8	787,826,562	98.6
	冷凍食品	367,768	128.3	172,928,517	115.4
	小計	3,721,914	100.3	2,919,173,711	102.0
卸売業者計		19,320,258	106.8	6,626,099,707	103.4

開場日数:平成26年 20日 25年 19日

③ 市場流通状況調査結果…拠点市場としての供給圏外出荷割合基準を、青果64・5%(基準45%)、水産82・2%(基準60%で上回っている。これは場内事業者の皆さんのご尽力いただいた結果である。

④ 指定管理評価委員会の開催結果…1月28日開催され、府市場や評価委員から高い評価をいただいた。(2頁参照)

また、道路交通関係法令の改正で、悪質・危険運転者対策として、無免許運転などの罰則の引き上げや自転車利用者対策として、

市場協会安全部会（部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長）では、1月24日に管理棟会議室で、茨木警察署の交通課職員を講師に安全運転講習会を開催した。講師から茨木市内の昨年の死亡事故5件を例にして、どのような状況で事故が起ったのか、どのような点に注意が必要であったのかと事例に即して分かりやすく迫力ある説明



自転車が通行できる路側帯は道路の左側部分に設けられた路側帯に限られ、違反すれば通行区分違反になり罰せられることなどの説明があった。

当日は、多忙な業務中にもかかわらず、34名の参加があり、非常に役立ったと好評であった。

3月は青仲店舗

2月の計量器検査は、加工団地の店舗に対して、市場協会に所属する信岡昭洋計量士によって、4日と6日に、48店舗等の174台の計量器について行われ、171台が合格した。

3月の計量器定期検査は、6・7・10・11の4日間、各日午前10時から正午に、府青果卸売協同組合加入店舗を対象に実施される。

計量法で検査に合格した計量器には、合格年月が表示された「定期検査済合格ステッカー」が貼付される。

3月14日(金)実施

三木部会長は、親睦を深め、健康づくりにできるだけ多くの皆さんに参加していただきたいと呼びかけている。

府市場協会安全部会（部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長）では、今年度4回目の場内一斉大掃除を、3月14日（金）に実施することに決定した。今年度最後の大掃除で、安全・安心な明るい市場づくりに取り組もうと呼びかけている。

(株)うおいちと(株)大水の両北部

支社は、2月15日に水産棟の各社の会議室において春夏用加工食品の展示会を開催した。

った商品や、値上げのないように価格を工夫するなど様々なアイデアを盛り込んだ商品を多数展示。

展示会には、併せて約400社のメーカーが練り製品、麺、和菓子、和惣菜、中華惣菜や塩干品などを中心に、この春夏に向けての一押しアイテムを出展した。

仲卸や量販店の担当者などが多く来場し、所狭しと並ぶサンプルの前では、あちらこちらで、終了間際まで商談を行っている人たちで賑わった。

4月からの消費税増税による消費の冷え込みが予想される中で、各メーカーは品質にこだわ



新着図書案内  
(1月2月分)

ボックス！上・下

恋歌

小山田 浩子 著 新潮社

❁ 海  
の  
底

有川 浩 著

影法師

百田 尚樹 著

昭和の犬

姫野 カオルコ 著

幻冬社

